新型コロナワクチン調製業務出務薬剤師作業手順書

2021/05/21 作成、06/16 モデルナ製用に改変、06/21 一部修正

2022/01/11 3 回目接種用に修正、02/10 一部修正

【 調製作業を始める前に・・・ 】

- 当日の接種予定者数を確認し、使用するワクチンの数を把握する。
- 神戸市の担当者と一緒にワクチンの在庫数、ロットナンバーを確認する。
- 作業エリアに不要なものがないか、必要なものが不足していないか確認する。
- ガウン、手袋、マスクを装着、作業エリア内に清潔エリアを確保する。

↓

【 冷蔵庫からワクチンバイアルを取り出した時は・・・ 】

- 記録表に様式に準じて「時間」、「出庫数」、「残数」、「その他必要事項」などを記録する。

↓

【 「モデルナ製 … 3 回目接種作業マニュアル【薬剤師用】」に沿って作業する 】

〇 3 回目接種における注意点（詳細は必ずマニュアルを参照すること）

- 1 バイアルから原則１８本のシリンジに薬液を充填する。
- モデルナ製ワクチンの 3 回目接種用は 1 本のシリンジに 0.25mL の薬剤を充填する。
- 薬液を充填したシリンジは原則６本ずつ３つのトレイに分けて入れる。
- １トレイ分（原則６本）充填が出来たら監査して払い出す。
- 使用済みバイアルは廃棄バイアル専用ホルダーに時系列に静置し遮光する。
- 初回または 2 回目接種の対象者が来場した際はマニュアルに従って対応する。

【 最後の１バイアルを冷蔵庫から出して開封する際に・・・】

- 1 度作業が終了したバイアルの使用を認める。ただし、1 バイアルから 20 本を超えるシリンジの分注は行わないこと。
- ただし、12 時間を経過していない、時系列の最も新しいバイアルから使用すること。
- 使用済みバイアルの使用は必須ではないため、混乱する場合や不安がある場合は新しいバイアルを開封して使用することを推奨する。
- ワクチンのロット番号が変わる日は、この措置は行わない。

↓

【 作業（接種）が終了したら・・・ 】

- 市の担当者と当日使用したワクチンの数、冷蔵庫のワクチンの残数を確認する。
  （午前と午後で出務者が変わる場合などは午前の作業終了時にも行う）。
- 必要に応じて市の担当者が翌日分のワクチンを冷凍庫から冷蔵庫に移す作業に立ち会う。
  （翌日に接種会場が休みの場合の対応は現地で確認する）

↓

作業終了